令和８年第３回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 （議席番号）	質問者	質　問　項　目	答弁者	摘要
１ （８）	鈴井　康裕	**青少年の健全育成について** （１）近年、青少年を取り巻く環境は多様化、複雑化しており、あわせて様々な課題の低年齢化も進む中、悩みを抱えながら日々を生きる少年少女が増えている。 　特にSNSの発達・普及により少女はもとより、少年にも性的な被害者は存在するようになった。 　性的な画像を要求されたり、インターネット上でしか知らない相手に会いに行こうとしたりするなどの状況が報道されている。 　こうした問題に対応するためには、子どもたちが「いのちを大切にする」「加害者にならない」「被害者にならない」「傍観者にならない」ことを理解できるよう、発達段階に応じたいのちの安全教育が重要であると考える。 　そこで、教育長はこのような現状をどのように捉えておられるのか、また今後どのような取組をしていくのか、見解を伺う。	教育長	
		（２）最近、本町近隣において、旭川市での女子高校生殺人事件や江別市での集団暴行致死事件など、極めて痛ましく深刻な事件が発生している。こうした事件の背景には、規範意識の希薄化や判断力の未熟さ、他者への想像力の不足、さらには情報を適切に受け止め判断する力の弱さなど、子どもたちを取り巻く教育上の課題もあるのではないかと考える。 　そこで、本町における情報モラル教育や犯罪防止教育について、現在、どのようなことを行っているのか、今後、それらの教育をどのように充実させていく考えか、教育長の見解を伺う。	教育長	

順位 （議席番号）	質問者	質　問　項　目	答弁者	摘要
2 （5）	大畠　光敬	**「グリーンパークしんとつかわ」の営業終了に伴う事業承継支援および今後の施設活用方針について** 新聞等の報道により、「グリーンパークしんとつかわ」が10月末をもって営業終了・閉鎖となることが明らかになった。 同施設は本町の重要な観光拠点であり、このまま閉鎖となれば「ふるさと公園」一帯の観光振興や集客に多大な影響を及ぼしかねず、多くの町民が今後の動向を案じている。 これを踏まえ、以下の点について問う。 （１）町は今回の業績悪化や閉鎖に関する問題をいつの段階で把握し、これまでどう対応してきたのか。８月の新聞報道による閉鎖発表に至るまでに何らかの回避策はなかったのか伺う。	町長	
		（２）本町の観光振興における同施設の重要性を鑑み、町は今後「グリーンパークしんとつかわ」をどのようにしていく方針なのか伺う。	町長	
3 （4）	三師　優美	**子育て世代のニーズに応える将来的な施設整備について** 以前の一般質問において、全天候型屋内遊戯施設については「時期が来たら検討する」との答弁があった。現在も子育て世代をはじめとする町民から要望が寄せられており、また今年度開始した「サタデープレイルーム」における利用状況からも、天候に左右されない遊び場へのニーズが伺える。 公共施設の長寿命化診断の節目を迎えるにあたり、こうした町民の声や現場での取り組みを踏まえ、全天候型遊戯施設等を併設する複合施設の建設など、将来的な施設整備について町長のお考えを伺う。	町長	

順位 （議席番号）	質問者	質　問　項　目	答弁者	摘要
4 （3）	深瀬美奈子	**今後の公共施設の在り方について** 人口減少や公共施設の老朽化が進む中、既存施設をどう維持するかだけでなく、これからの町に必要な公共機能を整理し、施設の再編や複合化を検討する必要があると考える。 以上を踏まえ、次の２点について町長の考えを伺う。 （１）今後必要となる公共機能と施設の複合化について 子どもから高齢者まで気軽に立ち寄り、休憩、学習、交流などができる日常的な居場所をはじめ、今後必要となる公共機能を整理し、公共施設の見直しに合わせて集約・複合化する考えはあるか。 また、その実現手法の一つとして、交流や情報発信、地域産品の紹介などの機能を持つ「道の駅」についても検討する考えはあるか。	町長	
		（２）町民参加と庁内横断的な検討について 今後の公共施設のあり方について、関係課が横断的に検討するとともに、施設の方向性を決定する前の段階から情報を町民と共有し、アンケートやワークショップ等により町民が参加できる仕組みを設ける考えはあるか。	町長	